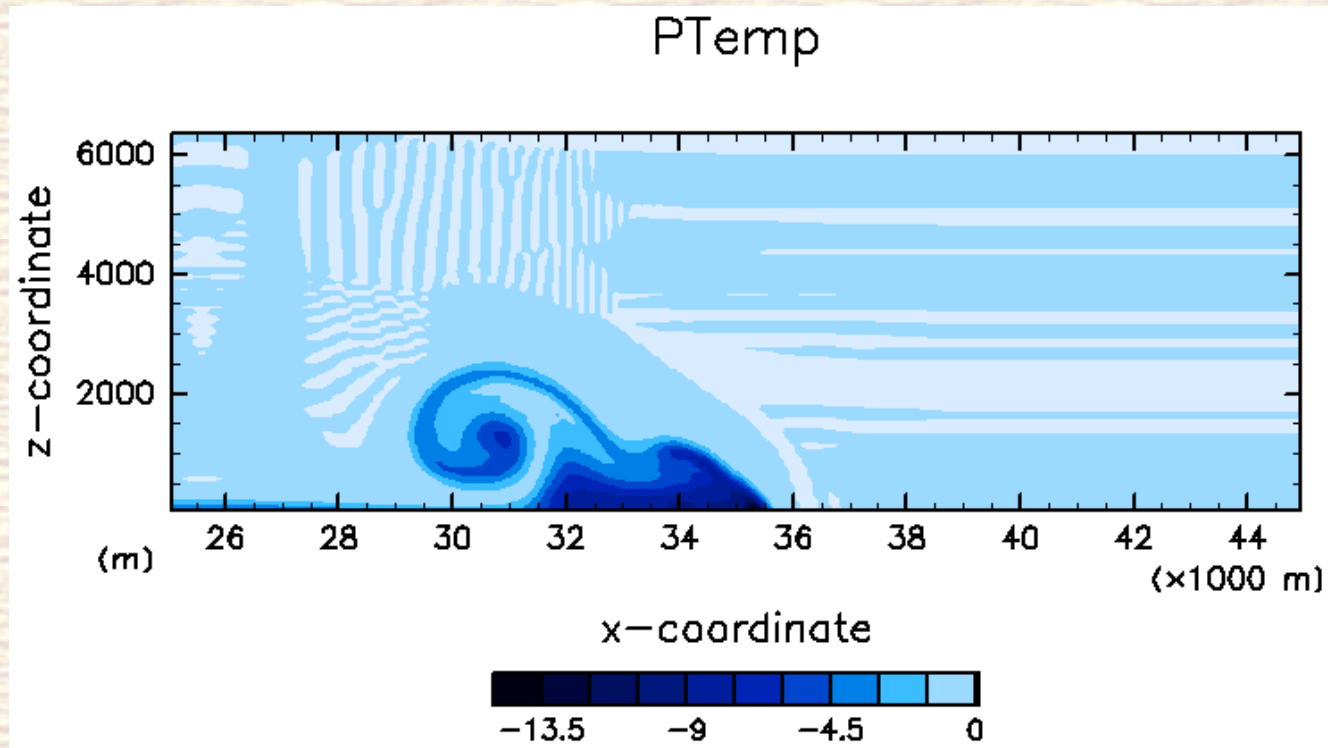


deepconv/arare5 実習



はじめに

- Straka et al. (1993) で行われた, 重力流の実験を実行してみます.



コンパイル1 ~ソース解凍~

- 端末を起動してください。
 - 下のパネルの左から二番目を押してください。
- deepconv/arare5 のソースがあるディレクトリまで移動してください。

```
$ cd ~/Desktop/Tutorial/arare5/
```
- 解凍してそのディレクトリに移動してください。

```
$ tar zxvf arare5_current.tgz  
$ cd arare5-20140306
```

コンパイル2 ~コンパイル& make~

- 通常は、自分の環境に合わせて `configure`, `make` をしなければなりません。
- Debian-Dennou の環境を使っている場合は、以下のように `configure`, `make` して下さい。

```
$ export FC=gt5frt
```

```
$ ./configure
```

実験1 ~実験用ディレクトリ準備~

- 実験をするためのディレクトリを準備してください

```
$ mkdir -p ../deepconv-exp/s93-exp
```

```
$ cd ../deepconv-exp/s93-exp
```

```
$ mkdir ./bin ./conf
```

- 実行ファイルと設定ファイルをコピーしてください

```
$ cp ../../arare5-20140306/src/main/arare bin
```

```
$ cp ../../arare5-20140306/src/main/arare_init-data  
bin/
```

```
$ cp ../../arare5-20140306/exp_setup_files/arare-  
DensCurrent-dry*.conf conf/
```

実験2~実行~

- 初期値データを生成します.

```
$ ./bin/arare_init-data -N=conf/arare-DensCurrent-dry_init.conf
```

- 実際に計算をします.

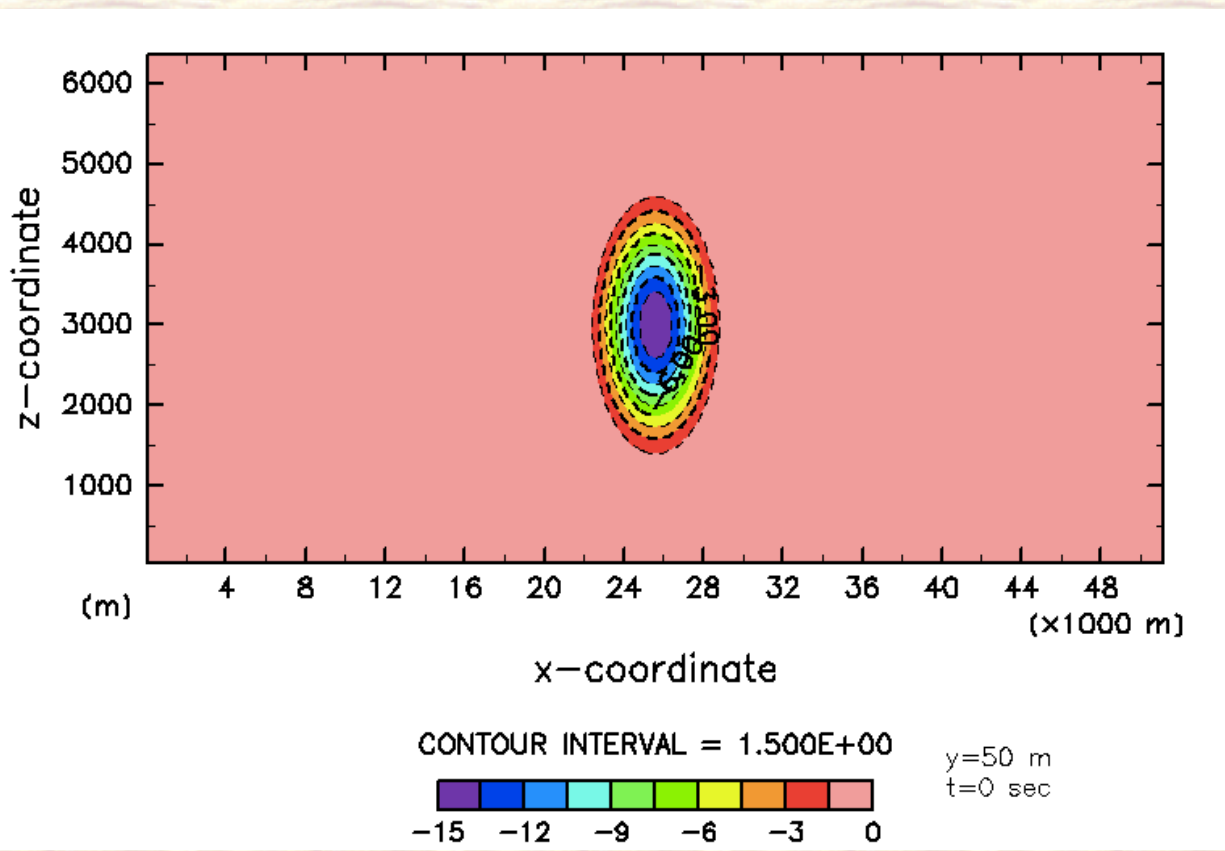
```
$ ./bin/arare -N=conf/arare-DensCurrent-dry.conf
```

しばらくお待ちください. 数分かかります.

計算結果の表示

■ 初期値を見てみる (図は温位偏差)

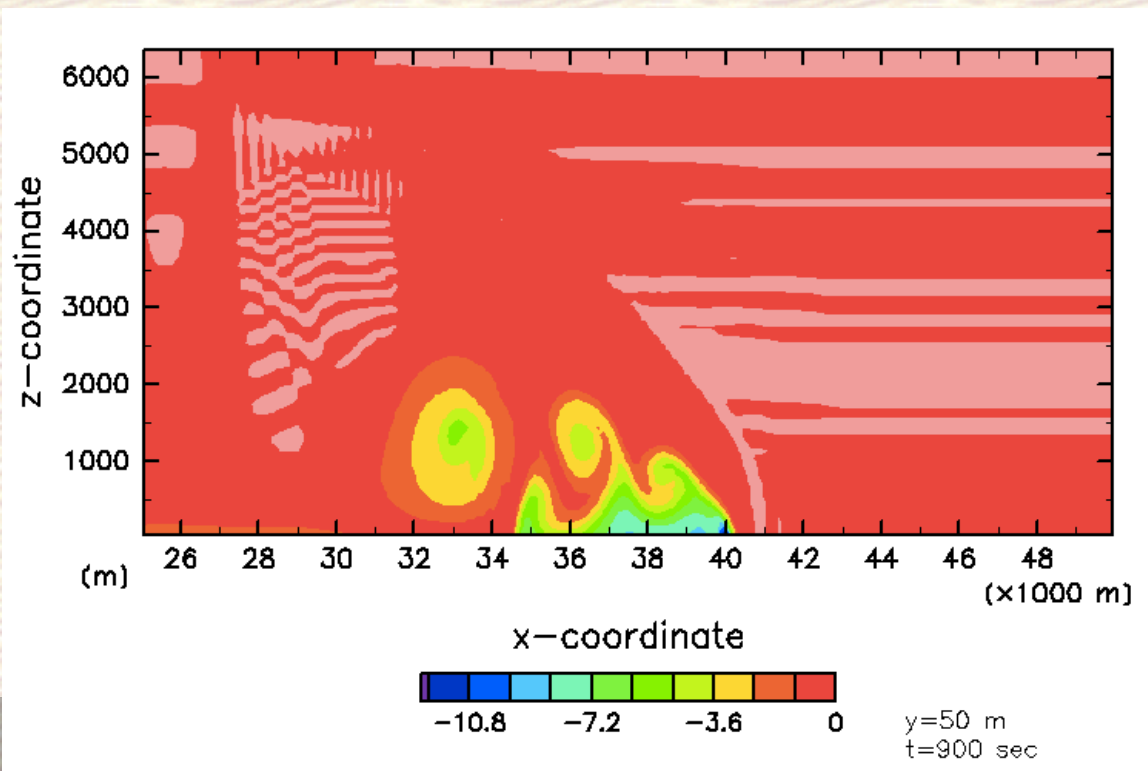
```
$ gpview denscurrent-dry_PTemp.nc@PTemp,y=0
```



計算結果の表示

■ 時間発展のアニメーション

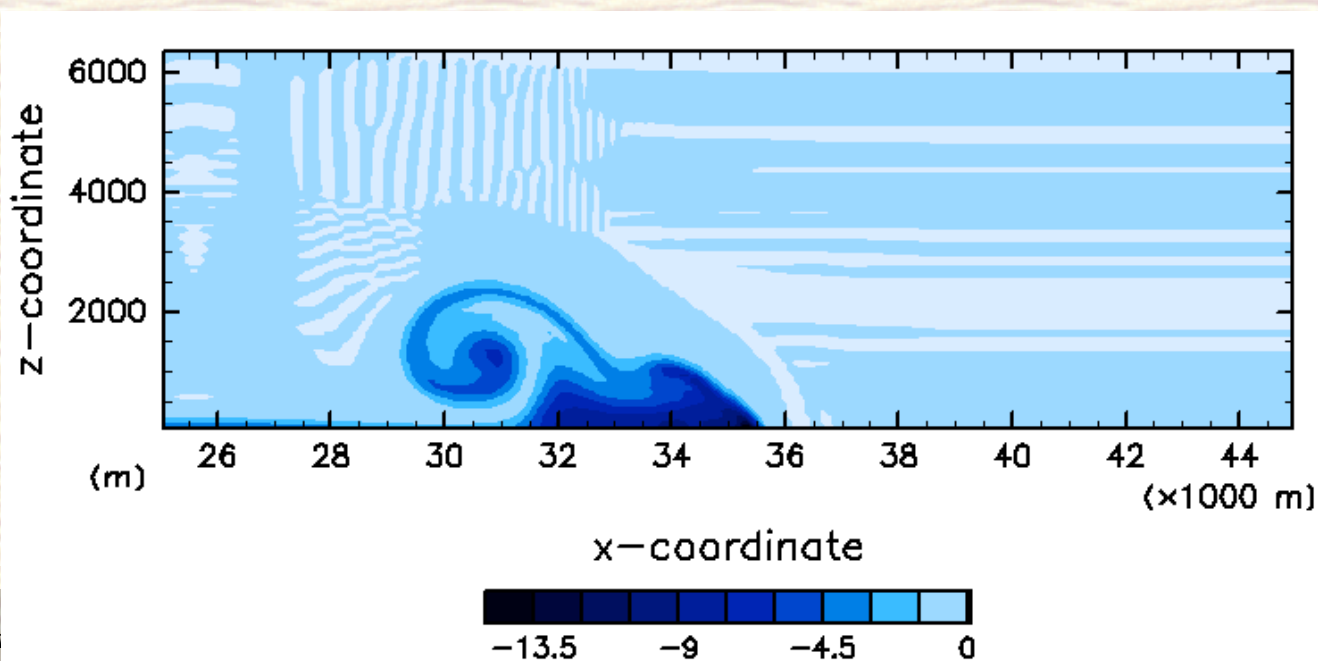
```
$ gpview denscurrent-  
dry_PTtemp.nc@PTemp,y=0,x=25e3:50e3  
--nocont -anim t
```



計算結果の表示

■ 時間発展のアニメーション, 色合いを変更

```
$ gpview denscurrent-  
dry_PTtemp.nc@PTemp,y=0,x=25e3:50e3  
--nocont --ainm t --clmap 3 --range -15:0.1  
--aspect 3
```



さらに

- 解像度や積分時間を変更してみてください。

発展編: らくらく deepconv

[http://www.gfd-dennou.org/library/
deepconv/arare5/arare5_current/doc/
tutorial/rakuraku.htm](http://www.gfd-dennou.org/library/deepconv/arare5/arare5_current/doc/tutorial/rakuraku.htm)